

Junos Subscriber Aware

製品概要

宅内およびモバイルサービスの利用者に最大の価値を得ていただくためには、各加入者個々に応じたエクスペリエンスを提供する必要があります。動的なユーザーエクスペリエンスを提供するために、サービスプロバイダは顧客、利用されるアプリケーション、およびネットワークの状態をリアルタイムで把握する必要があります。これらの情報を把握すれば、コンテキストウェアサービスとして知られる付加価値サービスを提供できます。ジュニパーネットワークスのエッジサービスポートフォリオ、Junos Subscriber Aware、Junos Application Aware、およびJunos Policy Controlを活用すれば、宅内利用およびモバイルサービスのプロバイダはサービスのカスタマイズが実施できるようになります。そうすることで、OTT (over-the-top) アプリケーションと比較されたときにこれらのサービスに特徴をもたらすことができます。

製品説明

サービスプロバイダは、コンテキストウェアネスを実現するために、加入者、加入者の位置、加入者のデバイス、および加入者が使用しているアプリケーションについての膨大な情報を活用する必要があります。コンテキストウェアネスを実現すれば、加入者の行動ニーズを満たすサービスの提供が可能になり、加入者のコンテキストをフル活用できます。

これをうまく実現するには、加入者の行動、つまり、さまざまな場所で、さまざまなデバイスを介して、さまざまな環境下で、加入者がどのようなアプリケーションを利用しているかを、サービスプロバイダが知る必要があります。この取り組みはデータの収集、分析、一元管理（さまざまな観点に従って）、およびレポートなどのさまざまな側面を併せ持っているため、サービスプロバイダは、特定のサービスにおける加入者の行動を把握することに加えて、徐々にモデル化することもできます。一言でいえば、加入者の意識を分析する試みとなります。

ジュニパーネットワークスJunos® Subscriber Awareは、加入者とフローの関連性を識別し、加入者の特権に基づいてトラフィックを分類することにより、加入者のポリシーに基づいて差別化されたサービスの提供を可能にします。

- 新しいフローを加入者識別エンジンに動的にリダイレクトし、加入者IDがポリシーに一致しているかどうかチェックします。
- フローと関連付けられたパケットの転送、レートリミット、マーク付け、またはドロップをポリシーに基づいて行うために転送プレーンを構成します。
- Junos Application Awareとの併用により、アプリケーション利用状況と加入者IDを相互に関連付けることができます。

アーキテクチャと主要コンポーネント

Junos Policy Control

Junos Policy Controlは、ポリシーの実施と課金を可能にします。Junos Application AwareおよびJunos Subscriber Awareと連携してダイナミックポリシーおよびオンライン課金機能を提供します。Junos Policy Controlは、3GPP (Third-Generation Partnership Program) のLTEネットワークにおいて、TDF (Traffic Detection Function) モデルに続くPCRF (Policy Charging and Rules Function) とのGx Diameterインタフェースを可能にします。

Junos Application Aware

Junos Application Awareは、DPI (deep packet inspection) を使用してアプリケーションごとにトラフィックを識別および分類することにより、アプリケーション固有のサービスに基づいて競争的差別化を図ります。

- DPI、シグネチャデータベース、既知のアドレスおよびポートを使用して、新しいフローに関連付けられたアプリケーションを識別してから、Junos Subscriber Awareでアプリケーションタイプがポリシーに一致しているかどうかをチェックします。
- 運用作業のサポートにおいてアプリケーションごとに統計情報を収集します。
- Junos Subscriber Awareとの併用により、アプリケーション利用状況と加入者IDを相互に関連付けることができます。

ジュニパーネットワークスMXシリーズ 3D ユニバーサル・エッジルーター

イーサネット・サービスルーターのMXシリーズのポートフォリオは、キャリアイーサネットの容量、密度、およびパフォーマンスを向上させる業界のリーダーです。新たなイーサネット・ネットワーク・アーキテクチャおよびサービス用に最適化されたMXシリーズは、最も要求の厳しいキャリアおよびエンタープライズ・アプリケーション専用のポートフォリオです。ジュニパーネットワークスJunos OSを利用して、キャリアおよび企業がシームレスにコスト効率良くイーサネットを導入できるようにし、次世代ネットワーク導入を促進します。クラス最高のハードウェアプラットフォームとJunos OSの信頼性およびサービス柔軟性を組み合わせることにより、MXシリーズは、今までキャリアイーサネット導入で得られなかった特性や機能の組み合わせを実現します。

マルチサービスカード (MS-MPC)

MS-MPCは、MXシリーズ向けの次世代の高度なサービスモジュールであり、今日の高度なイーサネットサービスエッジおよびブロードバンド・エッジネットワークに不可欠なパフォーマンス、サービス、および拡張性を提供します。MS-MPCは、MX2020、MX2010、MX960、MX480、およびMX240の3D ユニバーサル・エッジルーターのパケット処理集約型サービス向けにハードウェア・アクセラレーション機能を提供するフルスロット・モジュールです。

Junos Application Aware、Junos Subscriber Aware、およびJunos Policy Controlのサポートに加えて、これらのカードはステートフル・ファイアウォール、NAT (Network Address Translation)、IPsec、異常検知、フロー監視とアカウントリング、およびトンネルサービスを柔軟にサポートします。このような幅広いサービスの提供により、サービスプロバイダおよび企業は、ネットワーク・インフラストラクチャの保護、課金/容量プランニング/セキュリティを目的とする豊富な統計情報の収集、および新しいサービスの作成をすべて単一のモジュールで行うことができます。

特長・メリット

サービス統合

Junos Subscriber Awareは、たとえばJunos Policy Control、Junos Application Aware、Junos Network Secure、Junos VPN Secure、Junos Address Aware、およびJunos Traffic Visionなど、多様なJunos OSソフトウェアプロトコルおよびアプリケーションと統合されます。これらのJunos OSサービスをレイヤー化することにより、カスタマイズされた強力なサービス・エクスペリエンスを作り出すことができます。たとえば、Junos Subscriber AwareとJunos Address Awareを密接に組み合わせることで、アプリケーションの識別、分析、制御、およびレポートを加入者

ごとにきめ細かく行えます。また、動的に識別されるアプリケーション/加入者の組み合わせに基づいて、ポリシーベースのネットワーク変更（帯域幅、QoS）の実施が可能になります。MPLSとの密接な統合により、IPレイヤーを認知することによるあらゆるメリットが得られます。SRCシリーズ セッション&リソース管理モジュールとの統合では、正確なネットワーク情報に基づくCAC (call admission control) およびトラフィック・エンジニアリングが実現されます。これにより、さまざまなアプリケーションが混ざり合って存在する中で、リアルタイムの変化に対応したシステムおよびネットワークリソースの動的な変更が可能になり、加入者が同一物理接続上で他のサービスを利用していても、映像および音声アプリケーションの品質を確保できます。さらに、加入者またはアプリケーションをマルチキャストグループの最大数または最大帯域幅に制限するポリシーを作成することにより、ダウンストリームの帯域幅でオーバーサブスクリプションが発生するのを防ぎながら、フローおよびポートベースのレートシェイピング・ポリシーを実施して、回線またはサービス速度とは無関係に確実なトラフィックレートを提供できます。

仕様・規格

サポートされるソフトウェア機能の詳細については、www.juniper.net/techpubs/software/でJunos OSのソフトウェア資料を参照してください。

ジュニパーネットワークスについて

ジュニパーネットワークスは、ネットワークイノベーション企業です。デバイスからデータセンター、消費者からクラウド事業者に至るまで、ネットワークの利便性と経済性を変え、ビジネスを変革するソフトウェア、シリコン、システムを提供しています。ジュニパーネットワークスに関する詳細な情報は、以下をご覧ください。

<http://www.juniper.net/jp/>、Twitter、Facebook

日本
ジュニパーネットワークス株式会社
東京本社
〒163-1445
東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティタワー 45F
電話 03-5333-7400
FAX 03-5333-7401
西日本事務所
〒541-0041
大阪府大阪市中央区北浜1-1-27
グランクリュ大阪北浜

米国本社
Juniper Networks, Inc.
1194 North Mathilda Avenue
Sunnyvale, CA 94089
USA
電話 888-JUNIPER
(888-586-4737)
または408-745-2000
FAX 408-745-2100
URL <http://www.juniper.net>

アジアパシフィック、ヨーロッパ、中東、アフリカ
Juniper Networks International B.V.
Boeing Avenue 240
1119 PZ Schiphol-Rijk
Amsterdam, The Netherlands
電話 31-0-207-125-700
FAX 31-0-207-125-701

URL <http://www.juniper.net/jp/>

Copyright© 2014, Juniper Networks, Inc. All rights reserved.

Juniper Networks、Junos、NetScreen、ScreenOS、Juniper Networksロゴは、米国およびその他の国におけるJuniper Networks, Inc.の登録商標または商標です。また、その他記載されているすべての商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークは、各所有者に所有権があります。ジュニパーネットワークスは、本資料の記載内容に誤りがあった場合、一切責任を負いません。ジュニパーネットワークスは、本発行物を予告なく変更、修正、転載、または改訂する権利を有します。

1000499-001 JP May 2014